



クラブスローガン

30周年に向けてチャレンジ!!



国際ロータリー第2630地区 岐阜Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

2019-20 RIテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

令和2年3月3日(火)

第1352回例会 第1267号

会長 大橋 哲也
 幹事 安澤 嘉崇
 発行 公共イメージ委員会
 例会 火曜日 12時30分
 会場 都ホテル 岐阜長良川
 事務局 岐阜市神田町2-2
 電話 058-264-9235

必達!! 第1例会出席率 100%

必達!! 年間例会出席率 90%

会長挨拶

会長 大橋哲也



1. 重症花粉症 ゾレアによる治療とは

Q: スギ花粉症患者の治療薬として、「ゾレア」(一般名: オマリズマブ)が2019年12月に承認されました。ゾレアを用いた治療とはどのようなものか教えてください。

A: ゾレアによる治療とは、薬を皮下に注射することで、身体の中からIgEというアレルギーを起こす物質をなくして症状を抑えるものです。抗体医療と呼ばれています。すでに気管支ぜんそくや慢性じんましの患者さんにはゾレアを用いた治療が行われており、症状を抑えることができます。今回、**重症または最重症**(*)のスギ花粉症患者さんにもゾレアによる治療が世界で初めて可能になりました。

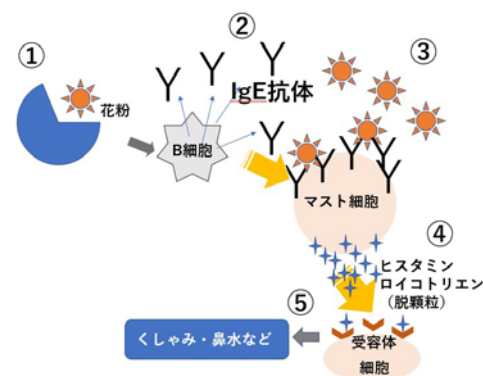
た。
(*) 重症または最重症とは
花粉症の重症度は、「1日に起こるくしゃみ発作の平均回数」「1日に鼻をかむ平均回数」「鼻づまりの程度」「日常生活の支障度」などによって「軽症」「中等症」「重症」「最重症」に判定されます。

Q: ゾレアのしくみを教えてください。ゾレアは抗IgE抗体とよばれるたんぱく質で、遺伝子組換えという最先端バイオテクノロジーによって生み出された医薬品です。

A: ゾレアは体内でIgEに対抗するように結合します。すると、IgEはマスト細胞(*肥満細胞ともいう)に結合できなくなります。これにより、マスト細胞は体内に侵入してくる花粉などのアレルギーと結合できなくなり、活性化が妨げられます。その結果、ヒスタミンなどの化学物質がマスト細胞から放出されなくなり、アレルギー反応が未然に抑えられると考えられています。

Point! 花粉症とゾレアのしくみ
花粉症が起こるしくみとは・・・
身体の中に花粉が侵入し(①)、花粉ア

レルゲンに対するIgE抗体ができると(②)、IgE抗体はマスト細胞にくっついて待機します。
再び花粉アレルギーが体内に侵入しIgE抗体に付着すると(③)、マスト細胞からヒスタミンやロイコトリエンなどの物質が放出されます。(④) それらが神経などを刺激して症状が起こります。(⑤)



ゾレアを注射すると、どうして症状が抑えられるのか・・・
身体にIgE抗体ができて、ゾレアがそれらをマスト細胞にくっつかないようにして、花粉症の原因となるヒスタミンなどの化学物質が放出されないことを狙っています。

前例会の記録

第1351回

2020年2月25日(火)

[点鐘] 19時00分

[ソング]

[ゲスト]

[ビクター]

[出席] 会員総数30名(出席免除 5名)
本日出席16名 64.00%

[行事] 『ファイヤーサイド
ミーティング』
於 玉宮町こふうど
担当 会員増強委員会

次回予定

第1353回

2020年3月10日(火)

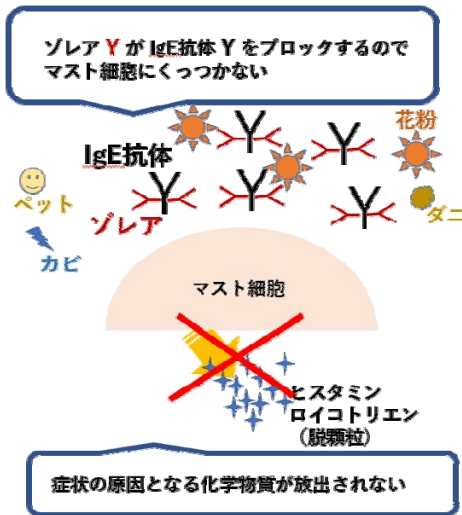
[点鐘] 12時30分

[行事] 職場例会

於 岐阜市歴史博物館

NHK大河ドラマ館

担当 職業奉仕委員会



2. ゾレア治療のQ&A

スギ花粉症のゾレア治療で、よくある質問についてお聞きしました。

Q：治療は誰でも受けられますか？

A：スギ花粉症の重症、または最重症と診断された患者さんが対象です。抗ヒスタミン薬（編集部注：ビラノアやアレグラなど）や鼻噴霧用ステロイド薬（編集部注：アラミストなど）などを1週間使って治療しても重症な場合に、ゾレア治療が可能になります。ただし、血液中の総IgE値と体重から、換算表（*下に記載してある表）に該当しない場合は現状ではゾレアによる治療対象になりません。

Q：治療はいつから受けられますか？

A：スギ花粉症の症状が重症であれば、いつでも治療を開始できます。

Q：治療を始める前に何をを行いますか？

A：抗ヒスタミン薬で1週間治療して、抑えきれないことを確認して、その後正確な体重と血液中の総IgE値を測定します。それらの値から、1シーズンあたりの皮下注射を行う回数、投与量、期間などが決められます。

Q：注射の回数の目安を教えてください。

A：原則は4週間に1回注射を行います。いつから治療を開始するかにもよりますが、通常は1シーズンに1~2回の注射ですむと思います。しかし、体重が重かったり、総IgE値が

高かったりすると、2週間に1回の注射が必要になります。

Q：どのような効果が期待できますか？

A：くしゃみ、鼻水、鼻づまりといった鼻の症状だけでなく、目のかゆみなどの目の症状も抑えられます。また、ゾレアはスギ花粉の特異的なIgE抗体だけに結合するのではなく、すべてのIgEに結合することを目標としているので、アレルギー反応によっておこる症状のすべてに効果的であると考えられています。

Q：副作用はありますか？

A：注射の部位の痛み以外は、ほぼ副作用はありません。眠気が起こるようなこともありません。

Q：治療を受けられる年齢は？

A：12歳以上です。

Q：妊娠中、授乳中の女性は治療を受けられますか？

A：治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合には投与が可能になりますが、まずは医師に相談してみてください。

Q：治療でゾレア以外に必要な薬はありますか？

A：ゾレア治療中は、抗ヒスタミン薬を服薬することが定められています。

Q：治療中に抗ヒスタミン薬以外の花粉症薬を併用できますか？

A：抗ヒスタミン薬以外の内服薬（編集部注：例えばオノン、キプロスなどの抗ロイコトリエン拮抗薬）、点鼻薬や点眼薬なども併用可能です。

Q：治療中に花粉症向け以外の薬（例：風邪薬）を使用できますか？

A：問題ありませんが、事前に医師に相談する方が良いでしょう。

Q：どこで治療を受けられますか？

A：規定の研修を終え、耳鼻咽喉科やアレルギー診療の一定の経験を積んだ医師のいる病院やクリニックなどで治療を受けることができます。

Q：費用はどのくらいかかりますか？

A：薬の費用ですが、1回の投与量が

150 mgの場合、4万6000円です。保険適用3割負担だと、1万3800円になります。患者さんの体重や総IgE値によって投与量が変わるので、300 mgの投与量が必要な場合だと2倍の値段になります。薬の費用以外に、初診料、再診料などが別途かかります。

幹事報告

幹事 安澤嘉崇

・本日はファイヤーサイドミーティングに多数ご出席いただきありがとうございました。今回は残念ながら新入会員候補者の参加はありませんでしたが、とても和やかな雰囲気の中、歓談していただけたようで、親睦は深まったのではないのでしょうか。

・3月の例会予定ですが、次週(3日)と月末(31日)は都ホテルでの例会になりますが、10日は岐阜市歴史博物館内「大河ドラマ館」での職場例会、20日・21日はポリオチャリティサッカー大会となります。どちらにも是非ともご出席ください。

・なお、3月20日・21日のポリオチャリティサッカー大会につきましては、新型コロナウイルスの広がりを注視しながら、次週の例会において開催するかどうかの判断をしたいと思っております。

ファイヤーサイドミーティング 会員増強委員会

委員長 竹村安史

今年度2度目のファイヤーサイドミーティングを19時から、玉宮町こふうどにて開催しました。今回は入会候補者は1名で大橋会長からのご紹介の引越しや掃除など何でも屋をされている方が参加予定でしたが、急用のため残念ながら欠席となりました。

例会の参加者は16名で、大橋会長の挨拶のあと、秋保副会長の乾杯の音頭で例会が始まり、新入会員の候補者を検討したりいろんな話題で盛り上がり、あっという間に2時間が過ぎて森副会長の挨拶で閉会となりました。